

冬季（低温時）での塗床施工の注意事項

【環境】

- ・床表面温度及び施工場所の温度は、5℃以上で施工して下さい。床の表面温度は、気温より低いので特に注意して下さい。
- ・施工後5時間は、施工場所の温度を5℃以上にして下さい。

<対策>

温度の管理として ヒータージェット等を使用して、室温5℃以上の温度管理をお願いします。

【施工】

- ・シンナーの入れ過ぎに注意して下さい。規定のシンナー添加量を厳守して下さい。
- 特にエポキシ樹脂の無溶剤型塗料（ユータック E-30N）は、塗料に対して3%までの添加量を限度にして下さい。

<対策>

- ・塗料を暖かい場所で保管する。電気毛布等で缶を覆い、塗料を冷やさない必要があります。塗料が冷えると粘度が上り、硬い塗料になります。

【冬季作業で発生する不具合】

- ・5℃以下では、塗膜の硬化（乾燥）が極端に遅くなり、硬化中に空気中の湿度と反応して塗膜表面が白くなる現象が起こる事があります。又塗膜硬化後長期養生しても水分と接触すると同様の現象が起こる事があります。

<補修方法>

- ・作業環境を整え、再度 同じ材料を塗装する又は上塗材で表面塗装を行う。（ユータック R を推奨）
-

【冬季作業で発生する不具合】

- ・シンナーを過剰に添加した場合は、上記と同様に硬化が遅くなり塗膜表面が白くなる現象に加え、塗膜の硬度不足（柔らかい塗膜に仕上がる）、密着不良等の不具合が起こる事があります。

<補修方法>

- ・作業環境を整え、再度 同じ材料を塗装する又は上塗材で表面塗装を行う。（ユータック R を推奨）
- ・極端な硬度不足の場合は、硬度不足の塗膜を撤去して再度 施工を行う場合もあります。